

光拡散織物を使用したロールスクリーン

ウラセ(株) (鯖江市)

平成 21 年度 優れた技術づくり共同研究事業
平成 22 年度 技術指導など

問合せ先 増田敦士、企画支援部



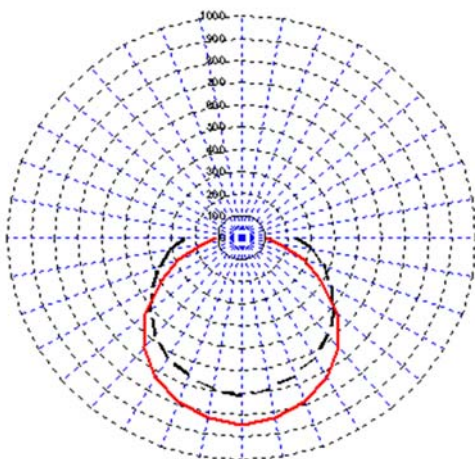
背景と経緯

ウラセ(株)は、工事現場での照明部材（照明バルーン）などの用途で、光透過性のあるポリエステル織物の加工を行っていました。この織物では LED などの照明部材としては光透過性が低下するため、光拡散フィルムと同等以上の性能を発揮できる方法について福井県工業技術センターと共同研究を行いました。その結果、フィルム系と光透過性の高いマルチフィラメントを組み合わせた新規の織物およびその加工方法の開発に成功しました。

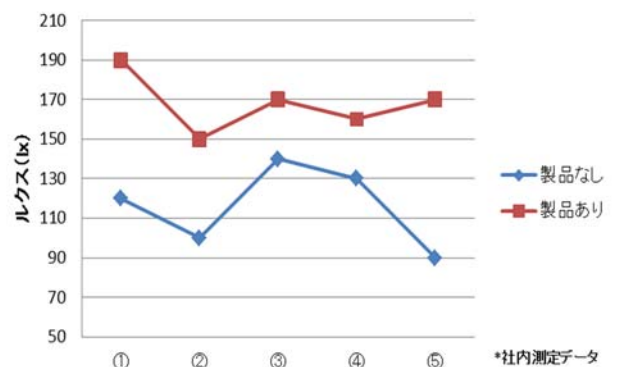
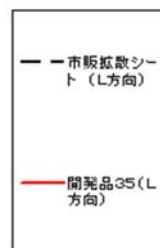
成果と製品化の状況

この光拡散織物は、約 90%以上の光の透過率と拡散性能を実現できます。また加工により難燃性能も付与できます。この性能を生かして、効率的に外光を取り入れることができるとともに室内のプライバシーを保護できるロールスクリーンやカーテン等のインテリア部材として製品化しています。

- 【製品特徴】
- ・太陽光を部屋の隅々に届ける事により室内を明るくすることができます
 - ・室内灯の使用を抑える事ができるため、節電効果にも期待ができます
 - ・防炎性・遮像性・フレキシブル性に優れた商品です



光拡散分布図
(光源より50cm、市販アクリルカバーの120%)



室内の定点5か所で測定データ
※窓際にロールスクリーンを設置することで、室内の隅々まで明るくすることができます。